

うどんこ病・コナジラミの防除に！

殺虫殺菌剤

パルミノ®



剤の特長

- うどんこ病に対して高い予防効果を示します。
- 既存薬剤に対して感受性の低下したうどんこ病菌にも有効です。
- 薬害の出にくい特殊な製剤です。



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

®は、アグロ カネショウ(株)の登録商標

登録内容

● 適用病害虫と使用方法

令和元年5月15日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む農薬の総使用回数
きゅうり	うどんこ病 コナジラミ類	2000倍	150～ 300ℓ / 10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なす ピーマン	うどんこ病 コナジラミ類 チャノホコリダニ						
トマト ミニトマト	うどんこ病 コナジラミ類 トマトサビダニ			5回以内	5回以内		
すいか	うどんこ病			10回以内			10回以内
メロン	うどんこ病						

△ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- ボルドー液等アルカリ性薬剤と混合すると分解が促進されるので混用はさけてください。
- なすに使用する場合、定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないでください。
- コナジラミ類防除に使用する場合、発生初期の卵の多い時期が散布適期となるので、時期を失わずに散布してください。
- だいち、あずきにかかると葉に薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不透水性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

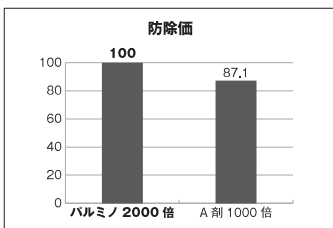
魚毒性等…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。

試験事例

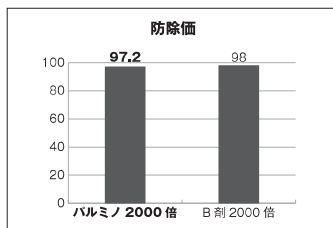
きゅうり うどんこ病に対する防除効果

試験場所：宮崎県総合農業試験場(H24)
品 種：エクセレント節成2号
(台木：ゆうゆう一輝(黒))
定 植：4月23日
発生状況：甚発生
処 理 日：5月10日、17日、24日
処理方法：肩掛け噴霧器で10aあたり300ℓを散布
調査方法：5月10日、17日、24日の散布前と6月1日(最終散布7日後)の計4回。
1、2回目の調査は上位3葉を除く完全展開葉、3、4回目の調査は各区計100葉を調査基準別に発病調査し、発病葉率、発病度を算出して防除価で表した。



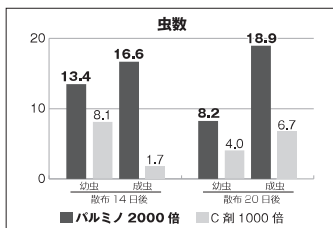
なす チャノホコリダニに対する防除効果

試験場所：福岡県農業総合試験場(H24)
品 種：筑陽
定 植：9月5日
発生状況：中→多発生
処 理 日：9月12日
処理方法：蓄圧式噴霧器を用いて散布
調査方法：9月11日(処理前日)、9月19日(処理7日後)に各区全株の上位葉からコルクボーラーを用いて直径12mmの葉片を株あたり2枚切り抜き、実体顕微鏡下で寄生成幼虫数を計数して防除価で表した。



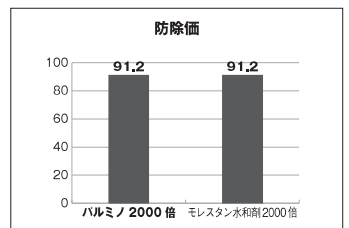
ピーマン タバココナジラミ(バイオタイプQ)に対する防除効果

試験場所：宮崎県総合農業試験場(H24年)
品 種：京鈴
定 植：5月18日
発生状況：少発生→多発生(放虫)
処 理 日：6月7日
処理方法：電動式噴霧器により200ℓ/10aを散布した。
調査方法：各区8株について中位葉2葉に寄生する成虫数を調査した。
また中位葉1葉を採取し、葉裏の中央3.3cmの円内に寄生する幼虫数を若～中齢、老齢に分けて調査した。



すいか うどんこ病に対する防除効果

試験場所：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所(H28年)
品 種：タヒチ
定 植：9月5日
発生状況：甚発生
処 理 日：10月17日、24日、31日
処理方法：肩掛け式噴霧器により250ℓ/10aを散布した。
調査方法：各区全体を対象に約100葉について、発病の発生程度(0～4)に調査し、発病葉率、発病度を求め防除価を算出した。



ハチに対する影響日数

クロマルハナバチ	1日*1
セイヨウミツバチ	5日*2

*1 ミニトマトにおける試験事例：日本植物防疫協会 高知試験場 (H28)

*2 いちごにおける試験事例：日本植物防疫協会 茨城研究所 (H29)

※天候や作物等の諸条件で変動します。あくまで目安としてご参考下さい。

薬害に関する注意

- なす：定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないこと。
- 機能性展着剤(プラボー、ニーズ、スカッシュ、アプローチBI等)は薬害を生じるおそれがあるため加用しないこと。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。